

# mellow out book

mellow crafts — 木工作家

『旅をする木』 星野道夫



昔からずっと読み続けている一冊の本がある。忙しい日々が続いたり、ちょっと疲れた時は、この本を開くことにしている。ひとつひとつの深い言葉が落ち着きと立ち止まって考える時間をくれる一冊。

この本は自分にとってそんな不思議な力を持っている。著者が様々な場所で出会った人や風景、そしてそこで感じたことがシンプルにつづられている。大げさな誇張が無い分、その言葉は聡明で深く心に入り込んでくる。

いつか見た風景がその後の自分にどのように勇気を与えるかという「ルース氷河」。どのようにアラスカと出会ったのかという「アラスカとの出会い」。結婚生活の始まりをつづった「アラスカに暮らす」。

現在を取り巻く環境はゆっくりと本と向き合う生活とは年々かけはなれた生活になっていると思う。そして、それを避けることもなかなか難しくもあるのではないかと感じる。

それでも、何かのきっかけで、この本と出会い、丁寧に言葉と向き合った星野道夫の生涯の仕事ぶり、写真、文章の言葉ひとつひとつに共感し、感動することができたとなれば、それは、人生において人と人が**出会**う**限り**ない**不思議**さに**通**じている「アラスカとの出会い」から引用) 気がする🗨️